

BtoBコミュニケーションの理論と実践を
体系的にマスターできる基礎講座

BtoBコミュニケーション大学校

開校のご案内

期間 2024年 6～9月



主催／一般社団法人 日本BtoB広告協会

<https://www.bbba.or.jp>

● BtoBコミュニケーション大学校の概要

BtoBコミュニケーションの理論と実践を体系的にマスターできる基礎講座です。広告や展示会、カタログから、WebサイトやSNSといったデジタルメディアまで、BtoB企業のコミュニケーション活動に必要な知識を集中的に修得することができます。1992年に「産業広告大学」として開校し、30年以上にわたって多くの方に支持されてきました。

コミュニケーション活動を展開する上で必要なマーケティングやブランディング、危機管理、サステナビリティなどの知見も深めることで、広い視野のもとで実践的な力が身につくカリキュラムになっています。

講師陣には学界や実業界の第一線で活躍している専門家をそろえ、実務能力の向上を意識してわかりやすく講義します。デジタル化、グローバル化に対応できる人材を育成し、企業価値を高めていくためにも、BtoBコミュニケーション大学校を是非ご活用ください。また講座内容はBtoBコミュニケーション分野におけるわが国唯一の認定資格「BMC 広告マスター」の資格認定試験とリンクしていますので、受講者は当試験の受験に大変有利です。



実務者の育成に、最適なカリキュラム

嶋村 和恵 BtoBコミュニケーション大学校学長 早稲田大学商学学術員教授

企業間マーケティング・コミュニケーションの一翼を担うBtoBコミュニケーションは、ITの進展、グローバル化、地球環境問題の重視、高齢化社会の進行等々企業を取り巻く環境が著しく変化する状況の下で、その重要性がますます高まっております。そうした中で宣伝や広報などBtoBコミュニケーションの実務担当者は効果的かつ効率的な業務を遂行していく上で、BtoBコミュニケーションに関する新しい知を生み出すことが必要であると考えます。基礎知識なくしては新しい知の創造は期待できないといっても過言ではなく、したがってBtoBコミュニケーションに関する基礎知識の習得が大切であります。

そのような主旨に基づいて開催される「BtoBコミュニケーション大学校」では、これまで多くの受講生が実際に結びつくようなBtoBコミュニケーションについての理論と方法を学習され、それぞれの企業において活躍されております。

BtoBコミュニケーションのスペシャリストを志向する多くの方々に「BtoBコミュニケーション大学校」を受講されることをお勧めいたします。

学 長	▶ 嶋村 和恵 (早稲田大学商学学術院教授、BtoB 広告アカデミー)
副 学 長	▶ 河内 英司 (BtoBコミュニケーション大学校副学長、カットス・クリエイティブ ラボ代表)
期 間	▶ 2024年6月24日～9月17日 (8月20日・27日を除き8月は休校) ※都合により一部変更になる場合もあります。 ▶ 1時限目 13:30～15:00 2時限目 15:10～16:40 (予定)
会 場	▶ 日刊工業新聞社セミナールーム (東京都中央区日本橋小網町14-1)
講座内容	▶ BtoBコミュニケーション全般の基礎知識 全22講座 ※同時にWeb会議システムでの講義を行います。
対 象	▶ 広告主企業・広告会社・広告制作会社・媒体社等の広告担当者および管理者、広報担当者、BtoBコミュニケーション全般の基礎を学びたい方。
修了証書	▶ 全22講座のうち18講座以上出席の受講者に授与。
修了試験	▶ 全講座終了後に在宅での修了試験を実施します。修了試験の結果70点以上の成績優秀者には、優秀賞 (表彰状) を授与し、勤務先または、本人へ郵送いたします。修了者は、一般社団法人日本BtoB広告協会認定の「BMC 広告マスター」資格試験の受験資格が取得できます。

BtoBコミュニケーション大学校

第33期(2024) 東京校 講座概要

月日	時間	講座No. 講座名	主な内容(予定)	講師(予定)(敬称略)
6 24 月	13:10 ▼ 13:25		開校あいさつ・ガイダンス	
	13:30 ▼ 15:00	1 BtoBコミュニケーション概論	広告の定義。BtoB広告とBtoC広告との相違。BtoB広告の役割。BtoB広告クリエイティブの特徴。BtoB広告メディアの特徴。BtoBブランディング、など。	嶋村 和恵 BtoBコミュニケーション大学校 学長 早稲田大学商学学術院教授
	15:10 ▼ 16:40	2 BtoBコミュニケーションとクロスメディア	BtoB媒体の特性・評価・選定のポイント。BtoBにおける媒体戦略と効果的なクロスメディア。ネットメディアのシナジー(相乗効果)、など。	溝口 裕康 (株)中外 専務執行役員 兼 上海中外先 智广告有限公司 董事総経理
7 2 火	13:30 ▼ 15:00	3 ASICAモデルと企業購買システム	ASICAモデル(BtoB購買プロセス)とは、AIDMAとはどう違う。ASICAモデルとクロスメディア。ASICAの段階別プロモーション例。BtoC分野でも適応できるASICA理論。ASICAを利用した広告計画がなぜ効果的なのか、など。	河内 英司 BtoBコミュニケーション大学校 副学長・BBAAアドバイザー、 カットス・クリエイティブ ラボ代表
	15:10 ▼ 16:40	4 新聞広告と雑誌広告	新聞広告と雑誌広告の役割。BtoB企業におけるマスメディアの位置づけ。インターネット時代における新聞・雑誌広告のあり方。広告効果測定、など。	北原 利行 (株)電通 電通総研・メディアイノベー ション研究部 研究主幹
7 9 火	13:30 ▼ 15:00	5 売りに結びつくBtoBカタログ	カタログメディアの基礎知識。広告メディアとしてのカタログ。ドキュメンテーションシステムの概要。カタログ構成のポイント、など。	河内 英司 BtoBコミュニケーション大学校 副学長・BBAAアドバイザー、 カットス・クリエイティブ ラボ代表
	15:10 ▼ 16:40	6 展示会マーケティング	展示会・見本市の歴史。展示会の機能と役割。効果的な展示手法。米国展示会の実情。展示会の効果測定。ネットワーク時代の展示会、など。	河内 英司 BtoBコミュニケーション大学校 副学長・BBAAアドバイザー、 カットス・クリエイティブ ラボ代表
7 16 火	13:30 ▼ 15:00	7 ソーシャルメディア時代におけるマーケティング & コミュニケーション管理の変遷とこれから	ソーシャルメディアの種類と機能。ソーシャルメディアの広告。ROI無限大プロモから火消し広報まで、公式アカウントが果たす役割。公式アカウントの開設から運用まで。	加藤 智明 Webコミュニケーション運用 支援「アリエスコム」 代表
	15:10 ▼ 16:40	8 効果的なWebサイト構築とマーケティング	アクセス解析の概要と基礎。営業や採用などの企業活動に生かすうえでの目標設定の重要性、分析の進め方、改善へのつなげ方、など。	小澤 康子 (株)DNPコミュニケーションデザイン 第3CXデザイン本部 第一部部長
7 23 火	13:30 ▼ 15:00	9 広告(コミュニケーション)効果と効果測定	広告の果たす役割と広告効果の考え方。広告効果測定方法。測定指標の研究。コミュニケーション効果と販売効果、など。	石崎 徹 専修大学 経営学部教授
	15:10 ▼ 16:40	10 BtoBデジタルマーケティング	一般的なWebプロモーションの流れからBtoBで活用されるWeb広告の種類、ホワイトペーパー(WP)のダウンロードからマーケティングオートメーション(MA)の活用までBtoB企業が行うべきデジタルマーケティングの流れを体系的に学ぶ。	新里 尚平 (株)ミケネコ 代表取締役 クリエイティブディレクター/ プランナー

充実した講師陣によるBtoBコミュニケーションの 基礎知識と実践を体系的にマスター

※ 当協会HPにてお申込み受付中

月日	時間	講座No. 講座名	主な内容(予定)	講師(予定)(敬称略)
7 30 火	13:30 ▼ 15:00	11 マーケティングリサーチ	マーケティングリサーチ概論。マーケティングの発展とマーケティングリサーチ。マーケティングリサーチの設計と調査指標の概念。効果的な市場調査、など。	田窪 正則 ヒストリカルデザイン(株) 代表取締役
	15:10 ▼ 16:40	12 見込み客の発掘と関係部門を納得させるプレゼン手法	展示会・セミナーといったイベントと自社Webサイトとの連携による、ターゲットリストの獲得と見込み客への育成。これらの必要性を関係部門(マーケティング部門、営業部門)に納得してもらうための効果的なプレゼンテーション手法など。	松田 尚 (株)中外 マーケティング部 チーフプランナー
8 20 火	13:30 ▼ 15:00	13 組織の中の人間行動とマーケティング	CS(顧客満足)とES(従業員満足)との相互作用。ESに向けたマネジメント上の課題や取り組みを組織行動論及び組織心理学の視点から検討。組織文化と従業員のモチベーションなど。	竹内 規彦 早稲田大学 大学院経営管理研究科 (ビジネススクール)教授
	15:10 ▼ 16:40	14 海外広告	グローバルなビジネス展開に応じた広告体制の整備。海外広告を実施する際の手順と注意点。各社の海外広告の事例や、さまざまなメディアの使い方。	池田 拓也 カラ・ジャパン(株) シニア・コミュニケーション プランナー
8 27 火	13:30 ▼ 15:00	15 情報法令と広告責任 広告の危機管理	企業における広告コミュニケーションにおけるリスク。リスク最小化のために著作権等の知的財産権法の基礎知識を事例中心に解説する。	須藤 雅紀 元・日立製作所/ 女子美術大学 非常勤講師
	15:10 ▼ 16:40	16 企業における広報とコーポレートコミュニケーション戦略	企業を取り巻くビジネス環境の変化とともにコミュニケーションのあり方も進化している。初期の広報の役割から、現在に必要な統合的なコーポレート・コミュニケーション戦略の立て方、目標、予算、メディアプランまた効果的な組織の設定など。	高橋 庸江 元・(株)東急エージェンシー コーポレート本部 コーポレート ブランディング局 局長
9 3 火	13:30 ▼ 15:00	17 BtoB企業における3DCG活用	BtoB企業においても今後のメタバース時代を踏まえて3DCGをどのように活用したらよいか、製品や技術の表現からCGのアセット化による効率的活用など、実践的な最新事例を交えて学びます。	堀口 高士 (株)アマナ Visual Consulting Section Section Manager / Imaging Director
	15:10 ▼ 16:40	18 効果的なクリエイティブを導くオリエンテーション	効果的な広告を制作するために、コミュニケーション担当者に必要なオリエンテーションの基礎知識や展開手法など。	桑畑 一浩 三菱電機(株) 宣伝部 新規プロジェクト担当部長
9 10 火	13:30 ▼ 15:00	19 BtoBブランディング	ブランディングの基礎知識。BtoBブランディングのあり方。ブランドコミュニケーションの進め方。エクスターナルブランディングとインターナルブランディング、など。	森門 教尊 (株)博報堂コンサルティング パートナー
	15:10 ▼ 16:40	20 アクセス解析	アクセス解析の概要と種類。売りに直結させるアクセス解析の手法。ログ解析は訪問者の足取りだ。アクセス解析結果を営業に反映するための体制づくり、など。	山田 浩之 イントリックス(株) プロジェクトマネージャー
9 17 火	13:30 ▼ 15:00	21 ESG活動とコーポレートコミュニケーション	企業におけるESG活動の重要性とそれらの情報開示の在り方をコーポレートコミュニケーションの視点から明らかにする。特に主要媒体である統合報告書やサステナビリティレポートにおける必携項目について説明。	山口 民雄 NPO法人 循環型社会研究会 理事 (ESGワークショップリーダー)
	15:10 ▼ 16:40	22 BtoBコミュニケーションとステークホルダー・マネジメント	BtoB企業のステークホルダーの分類と特質。ステークホルダー別コミュニケーション。コミュニケーション活動と経営資源獲得。レピュテーション・マネジメントなど。	山崎 方義 愛知産業大学 経営学部教授
	16:45 ▼ 18:00		修了式・謝恩会	

BtoB コミュニケーション大学校・Web 講座 受講会社一覧

383社 (学生・個人含む)

I & S / BBDO	キッツ	チューリップテレビ	パナソニック(株)エレクトロニクス社
IHI	キトー	蝶理情報システム	浜松ホトニクス
アイシーシー	キヤノン	千代田化工建設	ハル
アイダエンジニアリング	共立パブリシティ	土山印刷	帆風
アイチコーポレーション	協和界面科学	椿本チエイン	ビー・プランニング
朝日ウッドテック	クボタ	TDK	日立インターメディアックス
旭化成マイクロシステム	グラコ	TDKデザイン	日立化成
旭硝子	クリエイティブ・ナレッジ	THK	日立機材
旭計器	クリエイティブハウスキューズ	TBWA / JAPAN	日立建機
アシザワ・ファインテック	栗田工業	データ・キーピング・サービス	日立工機
アジレントテクノロジー	栗本鐵工所	DMカードジャパン	日立情報システムズ
アステックアソシエイツ	グループ現代	ティエルバイ	日立製作所
アズビル	グローリー工業	ディスコ	日立ビルシステムサービス
アズワン	ケー・アンド・エル	テクセル	日立ソフトウェアエンジニアリング
アドバンテクト	経広社	テクノ広告社	日立物流
アドポイント	ケンオリ	テック	日立マクセル
アド・メルコ	コーセイカン	デルフィス	ファイザー
アトラスコプロ	神戸製鋼所	電研精機研究所	福田交易
アネルバ	光洋精工	電通	藤川伝導機
アマダホールディングス	コクヨ	デンヨー	不二空機
アルプスシステムインテグレーション	コベルコビジネスサポート	トーエイシステム	不二越
アルプス電気	コマツ	トキメック	富士通
アンフェノールジャパン	コマツハウス	トッパン・フォームズ	富士通フ・アイ・ピー
アンリツ	甲南電機	東京アドエージェンシー	富士通ビー・アンド・エス
アンリツDDセンター	国際通信社	東京化成工業	富士通マーケティング
イー・アンド・イー	小森コーポレーション	東京ガス	富士電機
イシダ	佐藤特殊精油	東京理化学	富士電機情報サービス
インタージ	サンケン電気	東京ニュース	富士電気化学
和泉電気	産業企画	東興電機製作所	双葉電子工業
イプロス	三友エージェンシー	東芝	文方社
岩谷産業	山陽特殊製鋼	東芝エージェンシー	フィルグラフィックス
インタージ	三和シャッター工業	東芝エンジニアリング	フジヤ
ヴァル研究所	シー・ジー	東芝機械	プライムゲートアドバタイジング
ウシオユーテック	シーズシー	東芝タンガロイ	ブルームバーク L.P.
ウシオ電機	シードアシスト	東芝三菱電機産業システム	フロムナインクリエイツ
宇野澤広告事務所	ジールアソシエイツ	東芝メディカル	ホシデン
うぶすな	シミズ&アソシエイツ	東洋通信機	堀場製作所
瓜生製作	清水建設	東洋キャリア工業	ホリゾン・インターナショナル
イー・イー・企画	シャープ	東洋ハイメック	ポリテックジャパン
SRA	写真化学	東洋紡FPI	前田鋼管
エスシークリエイティブ	敷島紡績	東リ	マスタック
NECクリエイティブ	重松製作所	東レエンジニアリング	マシンテックニカル
NECトーキン	島津アドコム	東和エンジニアリング	松井製作所
NECドキュメンテックス	島津製作所	トプコン	マックス
NECプラットフォームズ	島津理化学	西島製作所	マブチモーター
NOK	重化学工業通信社	ナショナルセミコンダクタージャパン	丸高産業
NOKエフテック	商工経済新聞社	南北社	万年社
NKE	昭電	西淀空調機	丸文
エヌケーケー総合設計	ジョブラックス	ニチアス	丸紅ソリューション
NTN	新建新聞社	ニチフ	三木ブーリ
NTTアド	シンフォニアテクノロジー	日刊工業関西広告社	三菱化学
NTTソフトウェア	神鋼パンテック	日刊工業広告社	三菱重工業
NTTデータ	新光電子	日刊工業新聞社	三菱電機
NTTデータビジネスプレインズ	新コスモス電機	日経広告	三菱電機ビルテクノサービス
NTTドコモ	新日軽	日新電機	ミツシマ工業
NTT番号情報	新明和工業	日清紡	ミチヒロ
荏原製作所	信和インターナショナル	日製産業	ミヤチテクノス
おいしい山形推進機構	スギノマシン	日鉄レックス	村田機械
オークラ輸送機	スリーボン	日東電工	メインゲイトエレクトロニクス
オーム社	住鉱潤滑剤	日本IDテック	明広社
大川原化工機	住友重機械工業	日本アイ・ピー・エム	明通
大阪ガス	住友スリーエム	日本イー・エム・ピー	明電舎
大阪電気	住友製薬	日本NCR	メガチップス
大阪保健福祉専門学校	生和建設	日本軽金属	メガフュージョン
大阪ハイテックテクノロジー専門学校	セキスイマーケティングセンター	日本経済新聞社	メンター・グラフィックス・ジャパン
大西デザイン事務所	綜美社	日本鋼管テクノサービス	安川オピアス
岡部エンジニアリング	ソデックCPC	日本サンソフト	安川電機
岡部コンサルタント	ソニー	日本真空技術	山一電機
オカムラ	ソニービジネスソリューション	日本ストラタスコンピュータ	山武産業システム
小川ポンプ工業	第一稀元素化学工業	日本スベリア社	大和BP社
オキアルファクリエイト	第一メテコ	日本精工	山本デザイン事務所
奥野製薬工業	大栄広告社	日本臓器製薬	ユービー・テクニカ
小野測器	大栄サービス	日本たばこ産業	由紀精密
オムロン	ダイキン工業	日本電気	横河シヨノンコントロールズ
オムロンコミュニケーションクリエイツ	大伸社コミュニケーションデザイン	日本電気三栄	吉岡デザイン・ルーム
オムロンマーケティング	ダイフク	日本電気精器	淀川製鋼所
オリエンタルモーター	ダイヘン	日本電産コバル電子	読売テレビ放送
オリコム	ダイムラー・クライスラー日本	日本ナショナルインスツルメンツ	ライブウェア・サービス
オリンパス光学工業	ダイヤモンドエージェンシー	日本発条	理想科学工業
カイジヨウ	大建工業	日本バレットレンタル	リョービ
カツヤマキカイ	大広	日本バルカー工業	レイ・クリエーション
賀風デザイン事務所	大成建設	日本ビー・エム・シー・ソフトウェア	ローム
金子産業	大同日本	日本モレックス	YKKアーキテクチャラプロダクツ
鎌倉製作所	大日本印刷	日本ユニシス	ワコム
カヤバ工業	太陽パーツ	ノーケン	
川崎重工業	高千穂交易	ノミック	
川崎アドバンテック	武田薬品工業	バイエル	
関西電気保安協会	タナベ経営	博報堂	
関西電力	タニタ	パック	
カンネツ	中外	八芳園	
キーイングホーム	中外炉工業	パナソニック	学生(京都造形芸術大学、駒沢大学、成蹊大学、東洋大学、法政大学、早稲田大学、薬沢デザイン研究所、産業技術大学院大学、IIS日本語学校)
			個人(4名)

BtoBコミュニケーション大学校

受講のお申込方法と受講料

- ① お申込は、協会ウェブサイト (<http://www.bbba.or.jp>) のBtoBコミュニケーション大学校申込フォームから、または、下記用紙に必要事項をご記入の上、協会宛にFAXしてください。
- ② お申込確認後、参加証と請求書を送付いたします。
- ③ 受講料

全講座 : 会社員 107,800円 一般 165,000円 学生 77,000円
単講座 (1講座につき) : 会社員 8,800円 一般 13,200円 学生 5,500円

(すべて消費税込み)

なお、ご不明な点は、協会事務局へお問合せください。

電話 : 03-5644-7111 FAX : **03-5644-7118**

受講申込書

発信日： 月 日

氏名				貴社名								
所属部署・役職名												
住所	〒											
電話	— —		FAX	— —								
E-mail	※講座変更のご案内・協会催事のご案内をするためのものです。											
受講コース (いずれかを○で囲んでください) 全講座 単講座 (下記へ○で囲んでください)												
単講座受講希望の方は、受講希望講座番号を○で囲んでください。												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	21	22				

※ 個人情報は、BBAA催事の連絡のみに使用いたします。



一般社団法人 日本BtoB広告協会

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル8F
Tel : 03-5644-7111 Fax : 03-5644-7118
<https://www.bbba.or.jp>
E-mail office@bbba.or.jp